

# 栄湯

Sakaeyu  
(北海道釧路市)



初めて釧路の銭湯へやってきました。旅の疲れ、仕事のストレス、人生の葛藤を携えながら。今回紹介するのは釧路駅北側にある栄湯だ。

早速栄湯を紹介していこう。中に入ると少し殺風景なロビーがある。特徴的なのは下駄箱だ。東京の銭湯ならすべて同じ大きさに統一されているが、ここではブーツが入る大きさ

の下駄箱が一部用意されている。それらが満杯なら下駄箱ではなく棚に置けるようになっている。寒い釧路ならではだ。ロビーには自販機と椅子があるので、男女の待ち合わせ場所として使われているのであろう。

ロビーがあるのにフロントがない。これが栄湯の2つ目の特徴だ。実は栄湯は番台方式。そこには昔ながらの脱衣室の光景が広がっていた。牛乳を入れた冷蔵庫、アイスクリームの入った冷凍庫があり、ヘアードライヤーは2個あって使用料金は30円。洗面台は1個。マッサージ椅子はない。ロッカーは18個しかなく、棚に籠が置かれている。棚の個数は12個だが、籠は22個ある。脱衣室は珍しく喫煙可能となっている。

栄湯の第3の特徴はビート板のような断熱材だ。脱衣室に20枚以上常備されている。これはいったい何のために置かれているのか。最初は浴室で地べたに座る人用かと思ったが、必ずしもそうではないようだ。これはサウナ用だ。実はサウナにはタオルが敷き詰められていない。したがって、お尻が熱くなって嫌な人はこのビート板を持って入るのである。

浴室に入る。浴室は少々複雑なレイアウトだ。中央右手に浴槽、その周囲に洗い場、左奥に水風呂とサウナ、右奥が露天風呂だ。

洗い場は29か所。椅子は高めで、洗面器は黄色いケロリンだ。内湯は3つあり、いずれもただのお湯ではない。2つは小さ目のジャグジー（定員各2人）で、桧の薬湯だ。湯温はやや熱め。うち1つは水面上50cm程度の高さから滝が流れているため、肩にあてると気持ちが良い。大きい内湯（定員4人）は美人の湯（重曹湯）。こちらはジェット流が楽しくめ、ステンレス製の冷枕も用意されている。湯温はかなり熱めだ。

サウナは室内温度 106℃。定員は 10 人程度でゆったりしている。テレビがあるので退屈はしないであろう。水風呂（定員 3 人）は釧路らしく恐ろしく冷たい。水風呂に入っている人は皆無であった。尚、栄湯はサウナ追加料金が不要。釧路のような寒い土地ではサウナは必須ということなのだろうか。

露天風呂は定員約 5 人、やや熱めの薬湯で、萬祥湯と表示されている。かなり効能が高そうな褐色の湯だ。このように、栄湯の浴槽はいずれも薬湯なのである。これが栄湯の 4 番目の特徴だ。栄湯によれば、薬湯は日替わり。毎日いろんな種類の薬湯が楽しめるとは贅沢な話だ。露天風呂では常連客が何やらルーチンワークと思われる体操をしている。真冬でもやるのだろうか、いややるに違いないと考えながら眺めていた。

栄湯は、旅の疲れ、仕事のストレス、人生の葛藤を癒すには十分すぎる銭湯であった。これで明日も頑張れる。

釧路には他にも銭湯があるようである。いずれ紹介したい。

- **名称**：栄湯
- **所在地**：北海道釧路市新栄町 1-20
- **電話**：0154-22-8960
- **営業時間**：11：00～23：30（最終受付 23：00、土曜日は 9：00 から営業）
- **定休日**：金曜日
- **入浴料**：大人（12 歳以上）440 円、中人（6 歳以上 12 歳未満）140 円、小人（6 歳未満）70 円、サウナ追加料金なし
- **サウナ**：あり
- **サウナ内のテレビ**：あり
- **取材日**：2016 年 6 月 22 日（水）
- **取材**：銭湯愛好会東京支部